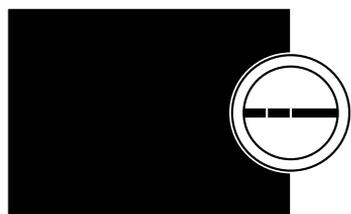


BeoSound 5

ガイド



BANG & OLUFSEN

お客様へ

このガイドには、お使いの製品の機能と特徴について、スタートアップガイドに追加される情報が説明されています。

これらの追加情報には、この製品のセットアップ方法、Bang & Olufsen リモコンを使った操作方法、およびデジタル音楽ソースの使い方が含まれます。

このガイドは、ソフトウェアのアップデートによって追加される新機能や特徴をすぐに反映できるよう、定期的にアップデートされていきます。

この製品についての詳しい情報は、www.bang-olufsen.com/faqにあるFAQ(お問い合わせ)でもご覧になれます。

技術仕様や機能、および使用方法は、事前の予告なく変更される場合があります。

目次

メニューの概要, 4

ディスプレイメニューの一覧。

本体操作, 6

このミュージックシステムを、本体上で操作する方法の説明。

Beo5またはBeo6を使った操作方法, 7

Beo5またはBeo6リモコンの使い方。

ツーウェイコミュニケーション, 8

Beo6によるツーウェイコミュニケーションの方法

Beo4を使った操作方法, 9

Beo4リモコンの使い方。

サウンド設定を調整する, 10

バランス、バス、トレブルなどの調整方法。

言語と時間帯を変える, 11

ディスプレイ言語の変更方法。

メンテナンスメニュー, 12

クリーンアップ機能の使い方。自動ソフトウェアアップデートと、最新ソフトウェア情報の設定。
手動ソフトウェアアップデートの方法。

サービス設定, 14

ネットラジオのバッファ時間変更またはMOTS機能をオフにする方法。オプションのCD
Ripping Deviceの設定方法。

ネットワーク設定, 17

ミュージックシステムをNetwork Link設定にする方法。ホスト名、IPアドレス、およびパスワード。

音楽ソースの準備, 19

音楽ソースを再生可能にする方法。

カラーリストと番号付きお気に入りリスト, 25

プレイリストの作り方。

MOTS, 26

MOTSの詳細内容について。

"役割"メニュー, 27

プレイタイマー等の使い方。オーディオマスター設定とソース名の変更方法。

起動時間を変える, 30

デフォルトの起動時間を調整する方法。

メニューの概要

N.MUSIC/CD/A.MEM	カバー	
	アーティスト	
	アルバム	
	タイトル	
	お気に入り	
	キュー	
N.RADIO/RADIO	ジャンル	
	言語	
	国名	
	名称	
	お気に入り	
A.AUX		
設定	サウンド*1	音量
		バランス
		バス
		トレブル
		ラウドネス
		スピーカータイプ
	システム情報	残り容量
	システム設定	言語
		時間帯
	メンテナンス	クリーンアップ*2
		ソフトウェアアップデート
		自動ソフトウェアアップデート
		音楽ストレージを再スキャン*3
		ディスク取り出し*4
		最新のリリース情報
		ABOUT
	サービス設定	N.RADIOバッファ
		MOTSをオフ
		自動RIP*4
		自動再生*4
		CD RIPPING DEVICE*4
	ネットワーク情報	ホスト名
		場所
		IPアドレス
		MACアドレス
		クライアント接続中
		ネットワーク接続
		BONJOURのステータス
		ミュージックサーバーのステータス
		共有フォルダ名
		ユーザー名
	役割	プレイタイマー*1
		オーディオマスター
		AMオプション
		N.MUSIC*5
		N.RADIO*5

*1 オプション1-6でのみ有効。

*2 N.MUSICが選択されて内蔵ハードディスクが使用されているときのみに有効。

*3 外部サーバーが使用されているときのみに有効。

*4 オプションのCD Ripping Deviceが接続されているときのみに有効。

*5 オーディオマスターが「はい」のときのみに有効。

メニューの概要 - 詳細

BeoSoundの操作で使用するメニューは、ポインタとホイールで呼び出すことができます。

詳細設定で使用するメニューは、通常は‘非表示’です。これらのメニューは、頻繁に使用する必要がなかったり、単なる‘ステータス表示’であったり、メニューの設定を変更するとご使用のBeoSoundの性能に影響を与える場合があるためです。

‘詳細’メニューを呼び出すには:

- > ポインタを使用して、[モード]を強調表示させます。
- > ホイールを回して、[設定]を選択します。
- > ↵を2回押して、GOを押します。

ここでは、追加メニューのみを示します。

システム情報	BS5 CASE温度
	BM5 CASE温度
	BM5 HDD温度
	BM5アップ時間
システム設定	パワー節約中
	ロギングをデバック
メンテナンス	ログをBANG & OLUFSENに送る
	再起動
サービス設定	音楽ストレージ
	ミュージックサーバー
	ミュージックサーバーを再構築*6
製品情報	CDドライブ*7
ネットワーク設定	クライアントパスワード
	ホスト名
	場所
役割	ディレー*8

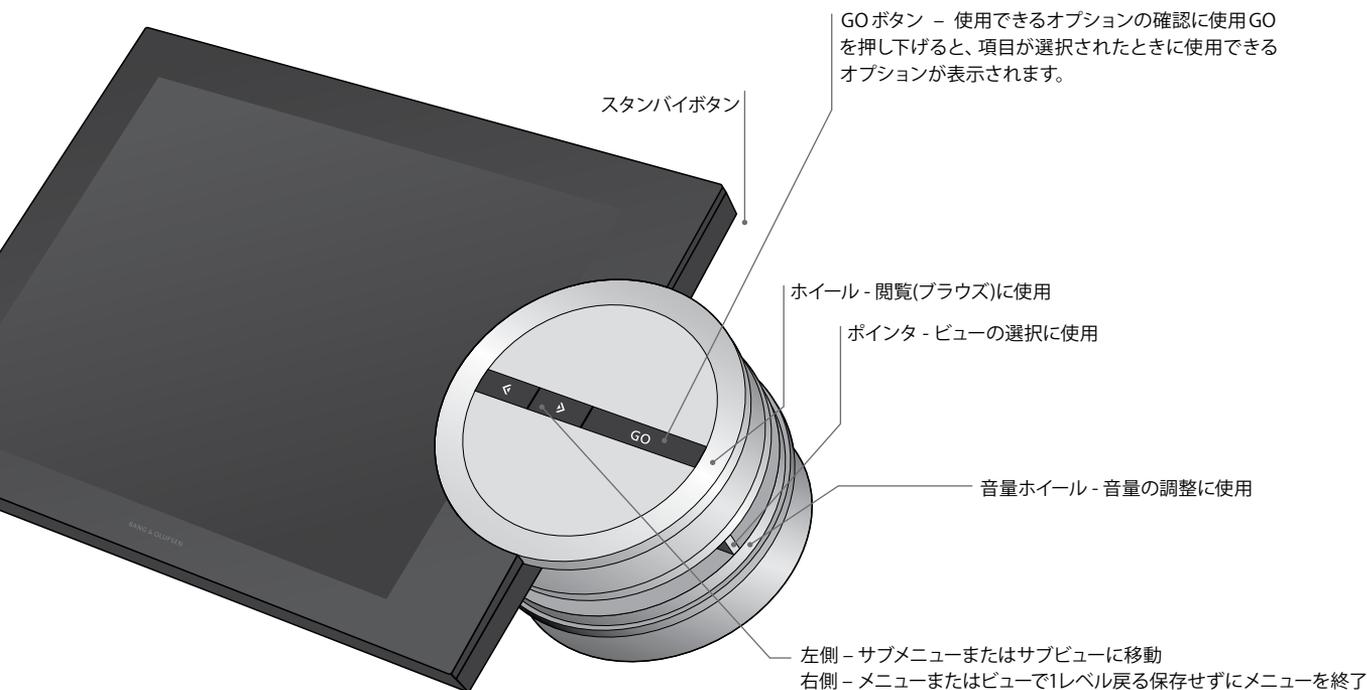
*6 ミュージックサーバーが「はい」のときのみ有効。

*7 CD Ripping Deviceが接続されているかどうかを示します。CD Ripping Deviceが正しく接続されているかどうかを確かめる場合に使用できます。オプション:‘検出されました’および‘検出されませんでした’。‘検出されませんでした’が表示された場合、BeoSound 5とCD Ripping Device間のケーブル接続を点検してください。

*8 AMオプションが0のときのみ有効。

本体での操作

このミュージックシステムは、本体で操作するように設計されています。音楽ファイルやラジオ局を閲覧して、それらを選択できます。



使用しているソースと選択しているビューに応じて、項目が表示されているときにGOを押し下げると、別のオプションに進むことができます。

N.MUSIC

削除 … ビューとリストから、アルバムやアーティスト、曲が削除されます。

追加先 … アイテムがお気に入りに追加されます。特定の曲をMOTSによって生成されるプレイリストに含みたくない場合、その曲を削除リストに追加します。

N.RADIO

削除 … 局が削除されます。

追加先 … 局がお気に入りに追加されます。

カラー付きリストと番号付きお気に入り

削除 … リストから、アルバム、アーティスト、曲、局が削除されます。

リストをクリア … 該当するリスト内のすべてが消去されます。

再生キュー

削除 … 再生キューから曲が削除されます。

キューをクリア … 再生キュー内のすべてが消去されます。

追加先 … アイテムがお気に入りに追加されます。特定の曲をMOTSによって生成されるプレイリストに含みたくない場合、その曲を削除リストに追加します。

削除リスト

移動 … 削除リストからアイテムを移動させて、MOTSに再び含みます。

リストをクリア … 削除リスト内のすべてが消去されます。

リッピング

CDのリッピング中、個々の曲名がリッピングリストに表示されます。リッピングされた曲は、選択して再生できます。

最新の追加

このリストには、内蔵ハードディスクに最近追加されたすべての曲が含まれます。アルバムがハードディスクに追加された順番に、リストは並び替えられます。CD Ripping Deviceによって追加された曲ならびに接続されているコンピュータから転送された曲がリストに含まれます。

Beo5 または Beo6 を使った操作方法

Beo5 または Beo6 を使う時は、このミュージックシステム用の設定を、各リモコンに施さなければいけません。販売店にお問い合わせください。



Beo6を使ったツーウェイコミュニケーションの方法

ご使用のBeo6 リモコンがツーウェイコミュニケーション対応に設定されている場合、ワイヤレスネットワークに接続して、ミュージックシステムに接続して、ミュージックシステムの音楽ファイルをリモコンで操作できます。現在再生中の曲目を確認したり、曲を変更したり再生キューに追加することができます。

ご使用のミュージックシステムもネットワークに接続する必要があります。

Beo6をワイヤレスネットワークに接続する方法については、リモコンに付属のガイドをご覧ください。

BeoSound 5をBeo6でワイヤレス操作するには、Beo6をワイヤレスネットワークに接続する必要があります。

Beo6を充電しているときも、再生中の画面は表示され続けます。BeoSound 5は、引き続き操作できます。

Beo6でN.MUSICを操作する

現在再生中の曲のカバーをBeo6に表示したり、音楽コレクションの閲覧、再生キューへの曲の追加、新しいMOTSシードの作成などを行うことができます。新しいMOTSシードの作成時に、新しいMOTSキューが生成されると、曲の再生は中断されます。

音楽を閲覧するには…

- > ソース名ボタン(例えばN.MUSIC)に触れて、そのソースをオンにする。
IRの範囲内で、製品の電源を入れる。
- > コレクションを一覧するため、"アルバム"または"アーティスト"のどちらかを選ぶ。
- > "アルバム"または"アーティスト"内のリストを呼び出すための、最初の一文字を選ぶ。
"アルバム"と"アーティスト"は、アルファベット順に分類されている。
- > スクリーン上で指を(上下方向に)スライドさせ、ひとつのスクリーンから次のスクリーンに移る。
- > 短く押すと選択される。
- > 押し続けると、選んだ項目のオプションが呼び出される。

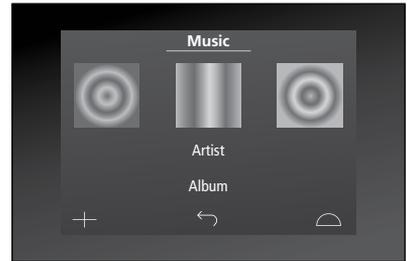
演奏キューに追加するには…

- > 選んだ項目を押し続け、オプションのキューを呼び出す。
- > キューボタンを押すと、その曲が演奏キューに追加される。

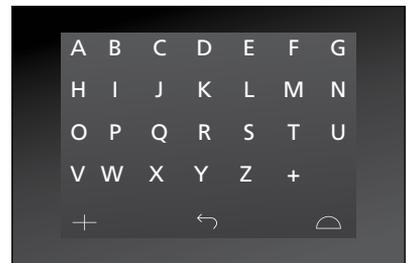
その曲をMOTSの種として指定するには…

- > 選んだ項目を押し続け、オプションの"MOTS"を呼び出す。
- > MOTSの表示を押すと、その曲がMOTSシードとして使用される。

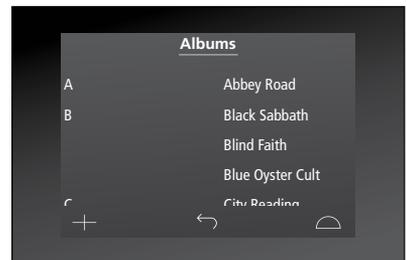
どのリストでも、いずれかの項目を押し続けていれば、その項目に伴うオプションをスクリーン上に呼び出すことができます。



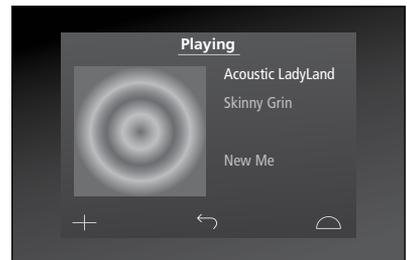
いちばん最近演奏された曲のカバーが、左に表示されます。システムが選んだお勧めの音楽が右側のカバーに表示されます。



いずれかの文字を押すと、"アルバム"または"アーティスト"のリストが見られます。



'文字キーボード'へ戻るには、スクリーン左側に表示されている文字を押します。



"演奏中"スクリーンでカバーを押すと、演奏キューが呼び出されます。

Beo4を使った操作方法

このミュージックシステムは、Beo4リモコンを使って操作できます。



Beo4 ディスプレイには、オンになっているソースや機能の名前が表示される

- N. MUSIC** N.MUSICのスイッチを入れる。LISTを押すと、ディスプレイにN.MUSICが呼び出される。
- N. RADIO** N.RADIOのスイッチを入れる。LISTを押すと、ディスプレイにN.RADIOが呼び出される。
- A. AUX** A.AUXのスイッチを入れる。LISTを押すと、ディスプレイにA.AUXが呼び出される
- MOTS** 演奏中の曲をMOTSの種とする LISTを押すと、ディスプレイにMOTSが呼び出される
- RADIO** N.Radio ソースがこのボタンに割り振られている場合は、N.RADIOをオンにする。
- CD** N.Music ソースがこのボタンに割り振られている場合は、N.MUSICをオンにする。
- A. MEM** N.Music ソースがこのボタンに割り振られている場合は、N.MUSICをオンにする。
- 1-9** 再生したい番号付きお気に入りを選ぶ
- LIST** Beo4 ディスプレイに、機能またはソースを選ぶための補助的'ボタン'を表示させる。
へまたは♡を押して、このリストから項目を選んだあと、センターボタンを押して承認する
- <◇>** センターボタンとナビゲーションボタン。選択を承認する、またはLISTメニュー内を移動する
- ◇** 曲、または局を送っていく
- ◀▶** アルバムを送っていく
- Colorful icons** カラー付きの曲またはラジオリストを選ぶ
- ◇** 音量を調節する
ボタン中央を押すと、スピーカーからの音が消える
- STOP** 再生を停止する
- PLAY** 押して再生を開始する。押し続けると演奏中の曲がMOTSの種となる
- Red dot** システムをスタンバイにする

サウンド設定を調整する

好みのサウンド設定を、プリセットできます。設定を保存すると、このミュージックシステムはスイッチを入れられるたび、保存した設定で再生を開始します。

工場出荷時、サウンドは、ほとんどのリスニング環境に適合するよう、中間の位置に設定されています。

このミュージックシステムに BeoLab 5 スピーカーを接続した場合は、その旨を"スピーカータイプ"メニューで設定しなければいけません。

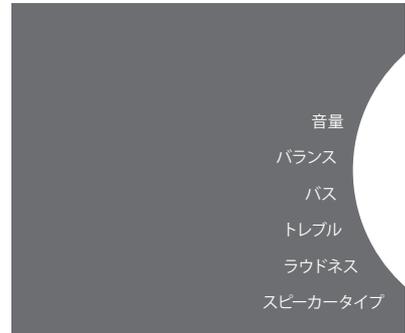
お使いのミュージックシステムが Option 0 に設定されていると、"サウンド"メニューは表示されません。

音量、バス(低音)、トレブル(高音)を調整する

サウンドの再生音量、バス、トレブル、およびバランスを設定することができます。ラウドネス機能は、音量が小さな時、高域および低域の周波数に対し人間の耳の感度が鈍るのを補正します。高域と低域が強調されますので、小さな音量でのサウンドの迫力が増大します。

サウンドを設定するには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"サウンド"を強調表示させる。
- > ホイールを回して、"音量"、"バランス"、"バス"、"トレブル"、"ラウドネス"の中から調整したいサウンド項目を選んだあと、GOを押す。その項目の現在のレベルが、'ホイール上'に示されている。
- > ホイールを回してレベルを調整したあと、GOを押せば、その設定が今後常に適用される。



サウンドの調整中、スピーカーからは調整中のレベルに応じた音が発せられます。

音量0で、サウンドは消えます。音量0、または音量75以上で、サウンド設定を保存することはできません。

もしミュージックシステムを Option 0 に設定していると、そのミュージックシステムの音量表示は、常に最大音量を示します。

言語と時間帯を変える

このミュージックシステムのディスプレイで使われる言語は、いつでも変更することができます。

メニュー言語が選択されると、メニューおよび表示されるメッセージは、すべてその言語で表示されます。

言語を変更すると、このミュージックシステムが再起動することもあります。

BeoSound 5 をプレイタイマーに加えたい場合は、時間帯が正確に設定されているか確認しなければいけません。

このミュージックシステムのディスプレイで使われる言語を、好きなものに変更することができます。

言語を変更するには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"システム設定"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"言語"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して使いたい言語を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、このメニューを終了させる。

正しい時間帯に設定するには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"システム設定"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"時間帯"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して正しい時間帯を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、このメニューを終了させる。



SYSTEM SETTINGSメニューで、好きな言語を選ぶことができます。選ぶと同時に、ディスプレイの表示はその言語に切り替わります。上の図はENGLISHの例です。

メンテナンスメニュー

このメニューで、内部ハードディスクから不要な曲を削除するための、クリーンアップ機能をオンにすることができます。クリーンアップ機能は、音楽ファイルの保存場所として内部ハードディスクが選ばれたとき、使用可能となります。

内部ハードディスクから項目を削除しても、その項目を再び同じハードディスクに転送すれば、改めて表示されるようになります。

また、製品ソフトウェアのアップデートと、製品の最新ソフトウェアについて確認することもできます。

上級メニューログをBANG & OLUFSENに送るは、製品のエラー記録を集め、それらを圧縮したのちインターネット経由でBang & Olufsenに送信します。この作業は、技術者が処理を行なった場合のみ正しく実行されます。

クリーンアップ機能

クリーンアップ機能を使うと、内部ハードディスクから曲やアルバム、またはアーティストを完全に消去することができます。クリーンアップ機能を使用するには、N.Musicがアクティブのときに、機能をオンに切り替える必要があります。

クリーンアップ機能をオンにするには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"メンテナンス"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"クリーンアップ"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して"オン"を選び、GOを押す。

その後、N.Musicの"アーティスト"ビューなど、いずれかのリストで項目を強調表示させれば、GOボタンを押し続けるだけでその項目を削除できるようになる。

手動ソフトウェア更新

ソフトウェアを手動で更新する、またはソフトウェアの自動更新をシステムに設定するを選択できます。ソフトウェアを更新すると、システムが再起動します。

ソフトウェアを手動で更新する…

- > ポインタを使用して、[モード]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[設定]を選択し、GOを押します。
- > ポインタを使用して、[メンテナンス]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[ソフトウェアアップデート]を選択し、GOを押します。
- > ディスプレイには、Bang & Olufsenのロゴとメッセージが表示されます:"新しいソフトウェアを検索中 - GOを押すと、キャンセルと表示されます。
- > ソフトウェアの更新が完了すると、"ダウンロード 100%完了"というメッセージがディスプレイに表示されます。最新のソフトウェアがない場合、"新しいソフトウェアはありません"というメッセージがディスプレイに表示されます。
- > ソフトウェアの更新を有効にするには、システムをスタンバイ状態に切り替えます。

注意!ソフトウェアを手動で更新しても、"自動ソフトウェアアップデート"の設定には影響しません。

注意!手動によるソフトウェアの更新中は、再生を使用できなくなります。

自動ソフトウェアアップデート

自動ソフトウェアアップデートは、常時オンにしておくようお勧めします。

自動でソフトウェアをアップデートするには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"メンテナンス"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"自動ソフトウェアアップデート"を選ぶ。GOを押す。
- > "はい"または"いいえ"を選び、GOを押して保存する。工場出荷時、この設定は有効になっている。
- > ポインタを使い、このメニューを終了させる。

注意！"自動ソフトウェアアップデート - はい"の設定は、変えないことをお勧めします。この設定が無効にされると、システムが新しいソフトウェアを自動で探しに行くこともなくなります。

ディスク取り出し

オプションのCD Ripping Deviceをご使用のミュージックシステムに接続している場合、この機能によって挿入されているディスクを取り出すことができます。挿入しているディスクをリッピングしない場合に便利です。

挿入されているディスクを取り出す…

- > ポインタを使用して、[モード]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[設定]を選択し、GOを押します。
- > ポインタを使用して、[メンテナンス]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[ディスク取り出し]を選択し、GOを押します。

[オプションのCD Ripping Deviceの設定方法については、「サービス設定」の説明をご覧ください。](#)



サービス設定

[サービス設定]メニューで、インターネットラジオのバッファ時間を増やしたり、MOTS機能を無効にできます。

オプションのCD-Ripには、自動的に開始するかどうか、またリッピング中にリッピングされたCDを自動再生するかどうかを設定できます。

'非表示'メニューを呼び出して、音楽ストレージを選択することもできます。

N.RADIO バッファ

インターネットラジオを聞いていて、サウンドが途切れてしまうような時は、バッファ時間を増大させることで、不安定なインターネット接続またはネットラジオストリームを最適化することができます。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"サービス設定"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"N.RADIO バッファ"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回してバッファの長さを秒単位で選んだあと、GOを押す。

バッファ時間を長くすると、N.RADIOの起動時間も長くなることがあります。

各プロバイダが発信するネットラジオ局の電波の質を、Bang & Olufsenは保証しません。

MOTS機能をオフにする

MOTS機能は、現在演奏中の曲を元にして、同様の曲を選びながらエンドレスのプレイリストを自動的に生成していきます。MOTS機能は、工場出荷時にオンにされています。とはいえ、そのつど自分で選んだ曲だけを聞きたい場合は、MOTS機能をオフにすることもできます。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"サービス設定"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"MOTSをオフ"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して"はい"を選び、GOを押す。

MOTSをオフにすると、プレイリストに手動で追加された曲だけが演奏されるようになります。[MOTSの詳細については、「MOTS」の説明をご覧ください。](#)

CD Ripping Deviceの起動

CD Ripping Deviceは、BeoSound 5本体での操作時に(たとえばホイールを回したり、レバーを動かしたり、ボタンを押すなど)起動するように設定されています。この設定は、BeoSound 5の電源を入れたら、CD Ripping Deviceの電源も入るように変更できます。

- > ポインタを使用して、[モード]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[設定]を選択し、GOを押します。
- > ポインタを使用して、[サービス設定]を強調表示させます。
- > ホイールを回してCD RIPPING DEVICEを選択し、GOを押します。
- > ホイールを回して[常にオン]を選択し、GOを押します。

工場出荷時の設定は‘手動オン’のため、BeoSound 5をリモコンまたはリンクルームから操作しても、CD Ripping Deviceの電源は入りません。CD Ripping Deviceの電源を入れるには、BeoSound 5本体で操作してください。

自動RIP

オプションのCD Ripping Deviceを接続して、オーディオCDを挿入するとリッピングが自動的に開始されるように設定できます。CDのリッピング中、メタデータがあれば、自動的に転送されます。メタデータがない場合、手動で追加するか、または接続されているコンピュータを介して転送できます。

- > ポインタを使用して、[モード]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[設定]を選択し、GOを押します。
- > ポインタを使用して、[サービス設定]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[自動RIP]を選択し、GOを押します。
- > ホイールを回してON(オン)を選択し、GOを押します。

OFF(オフ)を選択すると、リッピングは確定しないと開始されません。

CDは、WMAロスレスフォーマットでリッピングされます。プロテクトされていないコンテンツを含む標準CDのみリッピングできます。

自動再生

オーディオCDをリッピングするとき、リッピング中のCDを再生するようにシステムを設定できます。ミュージックシステムは、CDの1曲目がリッピングされると直ぐに再生を開始します。

- > ポインタを使用して、[モード]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[設定]を選択し、GOを押します。
- > ポインタを使用して、[サービス設定]を強調表示させます。
- > ホイールを回して[自動再生]を選択し、GOを押します。
- > ホイールを回してON(オン)を選択し、GOを押します。

CDのリッピング中に、別のソース、アルバム、アーティスト、曲をいつでも選択できます。各曲のリッピングが完了する前に、CDの別の曲に移動することはできません。

音楽の保存先

もしNASを音楽の保存先としている場合は、それに合わせBeoSound 5を設定する必要があります。工場出荷時のBeoSound 5は、内蔵ハードディスクを使うよう設定されているからです。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回し"設定"を選ぶ。
- > ⇨を2回押しGOを押す。
- > ポインタを使い、SERVICE SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回して MUSIC STORAGE を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して BeoMaster 5 (内蔵ハードディスク)または接続されたサーバを選び、GOを押す。

Bang & Olufsen は、特定の Network Attached Storage (NAS)機器の使用を推奨しています。詳しくは Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

音楽サーバ

例えば BeoSound 5 Encore 等も一緒にセットアップしている場合は、この BeoSound 5 を、他の機器がコンテンツにアクセスするための音楽サーバとして使うことができます。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回し"設定"を選ぶ。
- > ⇨を2回押しGOを押す。
- > ポインタを使い、SERVICE SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回して MUSIC SERVER を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して YES を選び、GOを押す。

MUSIC SERVER機能がオンになると、このシステムは'保留'モードに入りますが、ハードディスクのスイッチは切られません。

音楽サーバを再構築する

このオプションは、内蔵ハードディスクが音楽サーバとして使われている場合にのみ、使用可能となります。何らかの理由で、内蔵ハードディスクに保存された音楽が閲覧しようとしても表示されない時は、内蔵ハードディスクに保存した音楽を改めてスキャンできます。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回し"設定"を選ぶ。
- > ⇨を2回押しGOを押す。
- > ポインタを使い、SERVICE SETTINGSを強調表示させる。
- > ホイールを回して REBUILD MUSIC SERVER を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して YES を選び、GOを押す。

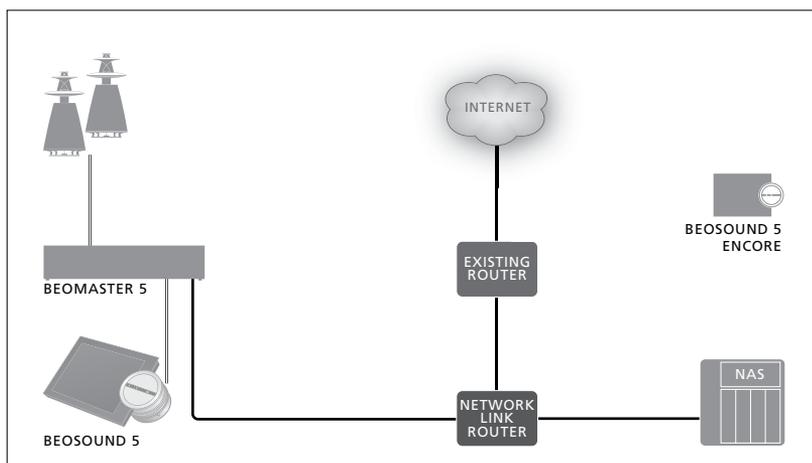
ネットワーク設定

このミュージックシステムを、ケーブル接続またはワイヤレス接続でネットワークに接続することもできます。最も安定したネットワーク接続を得るため、Bang & Olufsenは、ケーブルを使った接続を推奨します。

また Bang & Olufsen は、デジタル音楽を安定して再生するため、別個のルータとアクセスポイント (Network Link ルータ) を使用することもお勧めします。

この BeoSound の設置とセットアップは、Bang & Olufsen の専門の技術者にお任せください。

Bang & Olufsen のネットワーク設定について、詳しくは販売店にお問い合わせください。



Network Linkルータ

この BeoSound 5 は、Network Link ルータに接続されなければいけません。この接続は、有線でもワイヤレスでも行なえます。内蔵ハードディスクを使う時は、有線接続をお勧めします。ワイヤレス接続を行なう場合は、ワイヤレス USB ネットワークアダプタを別途購入する必要があります。接続が終われば、BeoSound 5 は、この Network Link ルータに接続された NAS が保存している音楽も再生できるようになります。

NAS を使う場合は、再生したい音楽を NAS 側に保存しておく必要があります。

ネットワーク情報を確認する

お使いのネットワークにどのような設定がされているかを、「ネットワーク情報」メニューで確認することができます。

- > ポインタを使い、ミュージックシステムの「モード」を強調表示させる。
- > ホイールを回して「設定」を選び、GO を押す。
- > ポインタを使い、「ネットワーク情報」を強調表示させる。これで、ネットワーク設定の状況が確認できる。

ホスト名やパスワードの変更方法については、次ページをご覧ください。

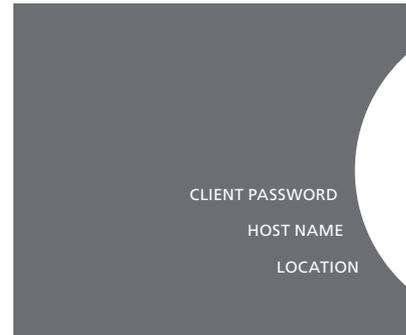
ホスト名、IPアドレス、およびクライアントパスワード

ルータの接続が断たれた時など、場合にはよつては、お使いのBeoSound 5セットアップのホスト名とIPアドレス、およびお客様パスワード情報が必要になることがあります。

各情報は、「ネットワーク情報」で確認できますが、パスワードまたはホスト名を変更したい時は、上級メニュー NETWORK SETTINGS で実行します。ホスト名を変更すると、システムは再起動します。

ネットワーク設定を変更するには…

- > ポインタを使い「モード」を強調表示させる。
- > ホイールを回し「設定」を選ぶ。
- > >を2回押しGOを押す。
- > ホイールを回して NETWORK SETTINGS を選び、GOを押す。
- > 変更したい項目を呼び出し、GOを押す。
- > スクリーンに表示される指示に従い、変更を終えたらGOを押す。

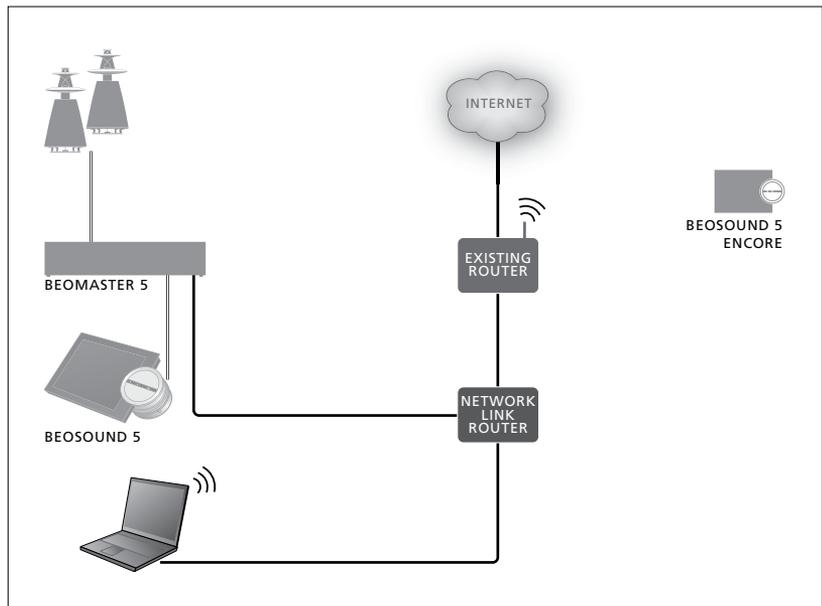


音楽ソースの準備

このシステムは、使いはじめる前にインターネットに接続し、使いたい音楽ソースを使用可能にしておく必要があります。このミュージックシステムは、インターネットラジオ、ライン入力でBeoMaster 5 に接続された音楽ソース(オプションのアクセサリが必要です)、BeoMaster 5 単体、あるいはネットワーク上に置かれた記憶装置(NAS)など、様々な音楽ソースに対応しています。

システムのセットアップと音楽ソースの準備は、販売店にお任せください。

内蔵ハードディスクを使用する場合、再生する音楽ファイルをBeoMaster 5 に転送してください。PCまたはMACパソコンで専用のソフトウェア BeoConnect を使用するか、オプションの CD Ripping Device 経由で転送できます。



BeoConnect ソフトウェア

BeoConnect ソフトウェアは、使用する BeoMaster 5 に接続されるコンピュータにインストールしなければいけません。接続とセットアップは、資格をもった Bang & Olufsen の技術員にお任せください。

Windows 用の BeoConnect ソフトウェアは、こちらからダウンロードできます:
www.bang-olufsen.com/software-downloads

Windows 用 BeoConnect ソフトウェアのガイドは、ソフトウェアに付属していますが、こちらからダウンロードすることもできます:
www.bang-olufsen.com/guides

MAC 用の BeoConnect ソフトウェアは、こちらからダウンロードできます:
www.bang-olufsen.com/software-downloads

MAC 用 BeoConnect ソフトウェアのガイドは、ソフトウェアに付属していますが、同じウェブサイトからダウンロードすることもできます。

Windows Media Player を使い、CD をリッピングして BeoMaster 5 へ転送したあと、Windows Explorer で整理することもできますし、iTunes を使用することも可能です。しかしながら、BeoConnect は「リンク」として機能するため、必ず、コンピュータにインストールしなければいけません。詳しくは、www.bang-olufsen.com/faq から BeoSound 5 の項を参照してください。

インターネットラジオを聞く

ラジオを聞くには、このミュージックシステムをインターネットに接続し、BeoConnectソフトウェアを使った登録を終えなければいけません。詳しくは、BeoConnectのガイドをご覧ください。

インターネットラジオをオンにするには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して N.RADIO を選び、GO を押す。
- > 聞きたいラジオ局を選び GO を押すと、受信が開始される。

* Beo4 でより簡単なナビゲートを行なうため、N.RADIOの名称をRADIOに変更している場合は、ここでRADIOを選ばなければいけません。[詳細については、「ソース名を変更する」の説明をご覧ください。](#)

サウンドが聞こえてくるまで、数秒かかることもあります。この秒数は、インターネットへの接続速度、N.Radioバッファ時間、および接続したラジオ局の状態によって違いがあります。[詳細については、「N.Radioバッファ」の説明をご覧ください。](#)

お気に入りのラジオ局を、すぐには選べるようプリセットしておくこともできます。[詳細については、「カラー付きリストと番号付きお気に入りの作成」の説明をご覧ください。](#)



N.MUSIC ソースの音楽を再生する

このミュージックシステムは、ネットワーク上のデジタル音楽ストレージへのアクセスを可能にします。デジタル音楽ストレージは、内蔵ハードディスク、または各種の標準的NAS機器のどちらにでも設けられます。

このセットアップは、Bang & Olufsen 販売店にお任せください。

もし音楽ストレージ(NAS)をオフにしてしまうと、そのストレージからの音楽再生はできなくなります。そのストレージのスイッチを再び入れれば、このミュージックシステムは自動的にその音楽ストレージに再接続します。

N.MUSICをオンにするには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して N.MUSIC を選び、GO を押す。*
- > 聞きたい音楽を選んで GO を押すと、再生が開始される。

* Beo4 でより簡単なナビゲートを行なうため、N.MUSICの名称を CD または A.MEM に変更している場合は、ここで CD または A.MEM を選ばなければなりません。[詳細については、「ソース名を変更する」の説明をご覧ください。](#)

音楽ストレージは…

工場出荷時、このミュージックシステムは、内蔵ハードディスクを再生するように設定されています。もちろん、もしシステムに接続されているのであれば、これを NAS 機器に変更することもできます。[詳細については、「音楽ストレージ」の説明をご覧ください。](#)

新しい音楽ストレージを初めて接続すると、以下の処理が行なわれていきます:

- このミュージックシステムは、音楽コレクションを細かく分類して閲覧可能としていきますが、この作業にはある程度の時間がかかります。ファイルのフォーマットについては、www.bang-olufsen.comをご覧ください。
- MOTSは、デジタル音楽ストレージに保存された全曲を、このミュージックシステムがスタンバイ状態にある時に計算していきます。新しい音楽ストレージを接続した時は、MOTSが計算を行なえるよう、ある程度のスタンバイ時間を確保してください。音楽ストレージに保存されている音楽ファイルが多ければ多いほど、計算にも時間がかかります。計算の進行状況は、MOTSのログが表示されている"キュー"の中に、何パーセント完了という形で示されます。大規模な音楽コレクションの計算には、数日かかることもあります。

Bang & Olufsenは、数種の最高級NAS機器について、このミュージックシステムとのテストを行ない動作を確認しています。最良の性能を得るためには、動作確認済みのNAS機器だけを使うようお勧めします。詳しくは販売店にお問い合わせください。

NASに保存された音楽へアクセスするには、そのNAS機器のUPnP/DNLAをオンにしなければいけません。詳しくは、NAS機器に付属するガイドをご覧ください。

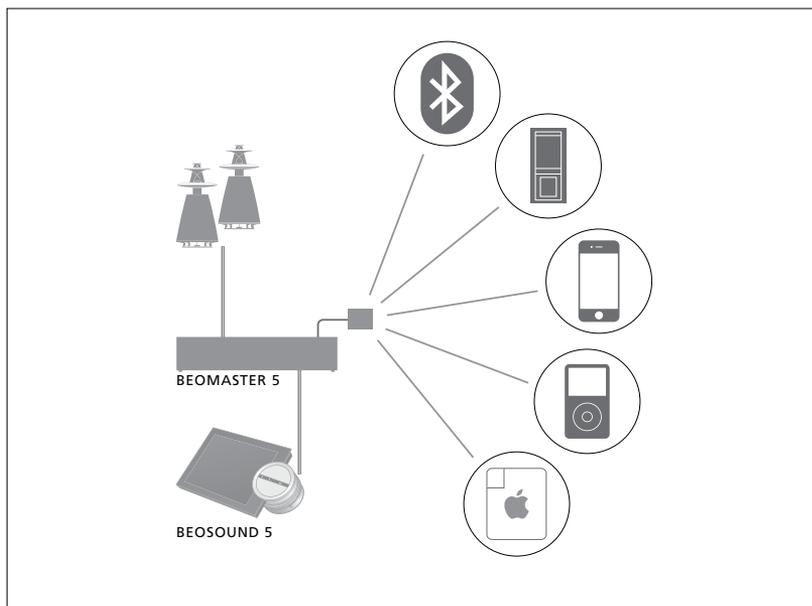
ライン入力ソースの音楽を再生する

お使いのミュージックシステムに接続したスピーカーから、外部機器の音楽を聞くこともできます。

この接続のためには、USB インターフェースが必要となります。このインターフェースは、別途ご購入ください。BeoSound 5 で Bluetooth 機器を使う場合も、この USB インターフェースに、別売アクセサリーの Bluetooth レシーバーを接続しなければいけません。

外部機器からの音楽を聞くためのオプションを、他にもいくつか準備しています。詳しくは Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

このタイプの接続は、BeoSound 5 の"オーディオマスター"が"はい"に設定されている場合にのみ使用可能です。



接続した音楽機器は、BeoSound 5 で A.AUX ソースと表示されます。BeoSound 本体、またはリモコンを使いこの機器をオンにすることはできません、操作することはできません。

A.AUX ソースをオンにするには…

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して A.AUX を選び、GO を押す。
- > 接続された機器を通常通り操作する。

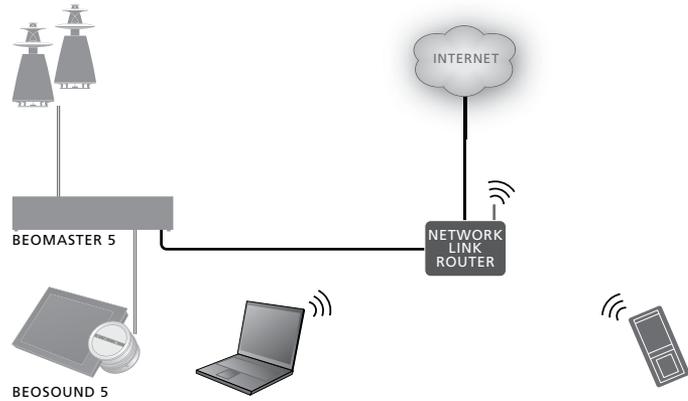
外部機器からの音楽を聞く

スマートフォンやコンピュータなどの外部機器の音楽を、ミュージックシステムに接続したスピーカーから聞くことができます。

外部機器は、BeoSound 5と同じネットワークに接続されている必要があります。さらに、BeoSound 5と連絡するためのアプリケーションを準備する必要があります。ひとたびコミュニケーションが確立されたら、BeoSound 5の'コントロール'機能は、その外部機器に移されます。つまり、例えばN.Radioを聞いている時、その外部機器でBeoSound 5を出力ソースとして選択すると、N.Radioの受信は中断され、その外部機器が演奏している音楽がスピーカーから聞こえてきます。

詳しくは、Bang & Olufsen販売店にお問い合わせください。

このタイプの接続は、BeoSound 5の"オーディオマスター"が"はい"に設定されている場合にのみ使用可能です。



接続した音楽機器は、BeoSound 5でA.AUXソースと表示されます。このA.AUXソースは、現在BeoSound 5でオンになっているあらゆるソースに優先されます。BeoSound 5本体、またはリモコンを使いこの機器をオンにすることはできませんが、操作することはできません。

A.AUXソースをオンにするには…

- > その機器から、BeoSound 5との'コミュニケーション'を確立する。
- > あとは、その機器を通常通り操作する。

カラーリストと番号付きお気に入りリスト

個人的なプレイリストを作成することができます。各プレイリストは、赤、緑、黄、青の4色で分類できます。例えば、家族のそれぞれが、それぞれの色でお好きな曲やラジオ局のリストを作ったり、休日やパーティー用のプレイリストを作ることができます。

お好きなラジオ局に番号を振っておくと、リモコンのその番号を押すだけで、その局を簡単に呼び出せるようになります。

N.Musicに含まれた曲に番号を振っておくと、その番号をMOTSの種として使うことができます。リモコンで番号ボタンを押し、その曲の再生を開始する必要はありません。

カラーリストと番号付きお気に入りリストは、選択した音楽ストレージに適用されます。ストレージ機器を変更した場合、どちらのリストも消去されます。

カラーリスト

4色のカラーリストには、複数の曲だけでなくアルバムやアーティスト、またはラジオ局も含めることができます。カラーリストは、アイテムをひとつずつ加えていくことのできるプレイリストです。

カラーリストを作るには…

- > カラーリストに加えたい曲、アルバム、ラジオ局を選び、GOを押し続ける。
- > ホイールを回し、色を選ぶ。
- > GOを離す。
- > これで、"お気に入り"メニューの中から、またはBang & Olufsen リモコンの適切なカラーボタンを押すことにより、そのカラーリストを選べるようになる。

赤、緑、黄色、青の4色のカラーリストを、それぞれラジオソースや音楽ソースなど、ソース別に使用することもできます。

番号付きお気に入りリスト

番号が付けられたお気に入りリストには、ラジオ局を1局、または曲を1曲含むことができます。新しいアイテムを使用済みの番号に割り振った場合、古い番号のアイテムは新しい番号のアイテムで置換されます。

番号付きお気に入りリストを作るには…

- > 番号を付けたいアイテムを選び、GOを押し続ける。
- > ホイールを回し、番号を選ぶ。
- > GOを離す。
- > これで、"お気に入り"メニューの中から、またはBang & Olufsen リモコンの適切な番号ボタンを押すことにより、そのお気に入り番号を選べるようになる。

N.RADIO に与えたお気に入り番号を選ぶと、RADIOはその番号を与えられた局に切り替わります。

N.MUSIC、A.MEMまたはCDに与えたお気に入り番号を選ぶと、その曲はMOTSの種として使用されますが、その曲の再生がただちに開始することはありません。

MOTS

MOTSは、同じタイプの曲を連続して自動演奏する機能です。MOTSは、サウンドやダイナミクス、リズムの特徴といった各音楽的要素の類似性を測定し、同じタイプの曲を連続再生していくための‘演奏キュー’を生成します。

MOTSを使うと、状況に適した曲が自動的に連続演奏されていきます。最初の1曲を選ぶだけで、同様の曲をMOTSが次々と自動的に演奏していきます。

対象となるソースは一度に1つ

MOTSは、現在演奏中のソースから演奏キューを生成していきます。MOTSが一度に使えるソースは、1つだけです。

MOTSが演奏キューを生成するソースとして使用できるのは、内蔵ハードディスク、または接続されたNASだけなのでご注意ください。



MOTSのロゴ

MOTSの計算

MOTSの計算は、サウンド、ダイナミクス、リズムの特徴に基づいており、アーティスト、アルバム、ジャンルといった項目を横断的にサーチしていきます。MOTSは、最後に追加された曲を基準として、どこまでも続く同様の曲の自動演奏リストを生成し、そのリストは、既存のプレイリストの最後に追加することも可能です。ある演奏キューのコンテンツが1個のカラーリストだった場合、MOTSは無効となります。

MOTSは、このミュージックシステムがスタンバイ状態にある時、音楽ストレージを計算していきます。新たな音楽ストレージを接続した時、または一度スイッチが切られた機器を再度オンにした時などは、MOTSが計算を終えるまで少し時間がかかります。

[MOTS機能を無効または有効にする方法については、「MOTSをオフにする」の説明をご覧ください。](#)

MOTS分析

全音楽コレクションを内蔵ハードディスクに転送した場合、MOTSは、そのコレクションから演奏キューを自動生成するために、一定の時間をかけその内容をすべて分析しなければなりません。一般的に、その分析は1曲あたり15秒かかります。

NAS機器が音楽ストレージとして使われている場合は、そのNASも分析の対象となります。

この分析は、システムがスタンバイ状態の時にものみ実行されます。従って何か曲を追加しても、その曲がMOTSキューの一部となるためには、システムをスタンバイ状態にしてその曲を分析させる必要があります。

"役割"メニュー

このミュージックシステムは、リンクセットアップ内にあるオーディオまたはビデオマスターに設定されたタイマープログラミングの、一部となることができます。

つまり、このミュージックシステムのタイマー機能をオンにしておくだけで、設定した時刻に、このミュージックシステムに接続されたスピーカーから音が出ます。

"役割"メニューで、リモコンのどのボタンを使い音楽の再生やラジオの受信を開始させるか、変更することができます。

工場出荷時は、N.MUSIC ボタンが、BeoMaster 5(または別途選択した音楽サーバ)からの音楽再生をオンにするよう設定されています。

N.RADIO ボタンは、インターネットラジオをオンにします。

Beo4 では、どちらのボタンもLISTメニューから呼び出せます。Beo4をお持ちで、これらのソースを頻繁に使うのであれば、各ソース名を変更し、CDまたはA.MEMボタンがN.MUSICを、RADIOボタンがN.RADIOをオンにするよう設定し直すことをお勧めします。

プレイタイマーをオンにする

お使いのミュージックシステムに接続されたスピーカーを使うには、BeoSound 5のプレイタイマー機能をオンにする必要があります。一度オンにしておけば、改めてオフにしない限り、この機能はオンのままで保持されます。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"役割"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"プレイタイマー"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して"オン"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、このメニューを終了させる。



"役割"メニューの内容

お使いのミュージックシステムに含まれた各ソースが、タイマープログラムのソースとして使用できます。

タイマーがN.MUSICをソースとして使う場合、再生は赤のお気に入りリストのみで開始されます。つまり、赤のリストに何も保存されていないと、サウンドはまったく聞こえてきません。

タイマーがN.RADIOをソースとして使う場合は、番号付きお気に入り(チャンネル)が選ばれます。つまり、お使いのミュージックシステムで選んだ番号に何も保存されていないと、サウンドはまったく聞こえてきません。

BeoSound 5のソースの名称を変更した場合は、タイマープログラミングで使うソース名も、その変更したものに合わせる必要がありますのでご注意ください。

オーディオマスター

"オーディオマスター"メニューを設定することで、お使いのBeoSound 5は、セットアップ内のオーディオマスターとして機能します。この設定は、セットアップ内でのBeoSound 5の'役割'を決めると同時に、どのメニューが使用可能となるかも決定します。例えば、"オーディオマスター"が"いいえ"に設定されている場合、接続されたソースのA.AUXオプションは使用できません。詳しくは、Bang & Olufsen 販売店にお問い合わせください。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"役割"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"オーディオマスター"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して適切な設定を選び、GOを押して保存する。

AMオプション

BeoSound 5がオーディオマスターに設定されている場合は、Optionプログラミングも設定しなければいけません。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"役割"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"AM オプション"を選び、GOを押す。
- > ホイールを回して適切な Option を選び、GO を押して保存する。

このミュージックシステムは、5種類の異なったOption設定が可能です:

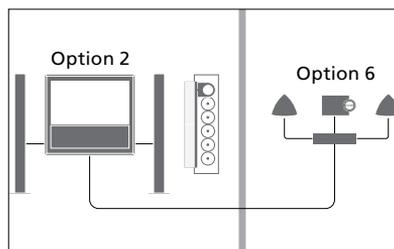
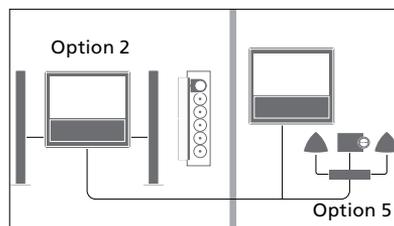
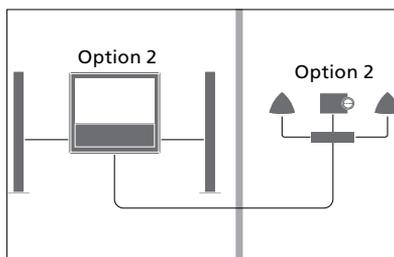
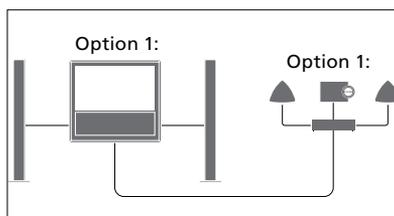
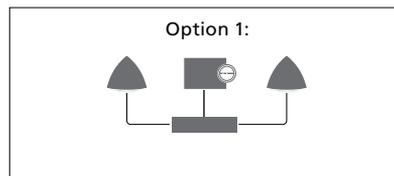
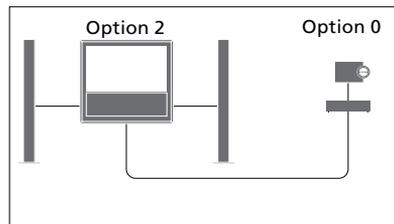
Option 0. ビジュアルシステムと接続された本製品に、スピーカーが直接つながっていない場合の設定です。

Option 1. スピーカーが直接つながれている本製品を、単体で使う、またはビジュアルシステムと接続して使う場合の設定です。

Option 2. 本製品を、別の部屋に設置されたビジュアルシステムと接続する場合の設定です。

Option 5. リンクルームで、本製品を Bang & Olufsen のテレビと接続する場合の設定です。

Option 6. 本製品が、Bang & Olufsen のテレビがないリンクルームに設置されている場合の設定です。



ソース名を変更する

何らかのN.MUSICソースをリモコンで簡単にオンにするためには、そのN.MUSICソースをCDボタンに割り振っておくと便利です。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回して"設定"を選び、GOを押す。
- > ポインタを使い、"役割"を強調表示させる。
- > ホイールを回してCD、A.MEM、N.MUSICのいずれかを選び、GOを押す。
- > もし必要とあれば、N.RADIOソースでも同様の作業を行う。
- > GOを押して保存する。

注意!何らかのソース名をCDまたはA.MEMに変更すると、ミュージックシステムの本体ディスプレイでも同じ変更が行われるので、操作手順にN.MUSICという語が出てきた場合、CDまたはA.MEMという語に置き換えて考える必要があります。N.RADIOに変更を加えた場合も、この名称はRADIOに変わるので注意してください。

ディレイ

接続したテレビが、このミュージックシステムからの音楽を確実に再生できるよう、ディレイ時間を設定することができます。これは、Option 0に設定されたミュージックシステムでのみ有効です。

- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
- > ホイールを回し"設定"を選ぶ。
- > ⇨を2回押しGOを押す。
- > ポインタを使い、ROLESを強調表示させる。
- > ホイールを回してDELAYを選び、GOを押す。
- > 必要とされるディレイ時間を設定する。
- > GOを押して保存する。

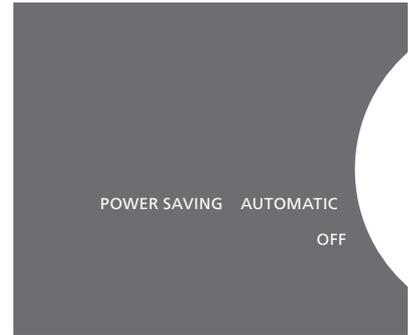
起動時間を変える

このミュージックシステムの起動時間を、速めることができます。ただしこれを行なうと、スタンバイ時の待機電力量が増加します。

POWER SAVINGメニューをOFFに設定することで、起動時間を速めることができます。

- デフォルトの電力消費を変更するには…
- > ポインタを使い"モード"を強調表示させる。
 - > ホイールを回し"設定"を選ぶ。
 - > >を2回押しGOを押す。
 - > ポインタを使ってSYSTEM SETTINGSを強調表示させ、GOを押す。
 - > ホイールを回してPOWER SAVINGを選び、GOを押す。
 - > ホイールを回してAUTOMATICまたはOFFを選び、GOを押す。
 - > ポインタを使い、このメニューを終了させる。

SYSTEM SETTINGSメニューには、DEBUG LOGGINGメニューも含まれています。このメニュー内の設定は、技術員からの要求があった場合以外、変更してはいけません。



SYSTEM SETTINGSメニューで、スタンバイ時の電力消費量を変えることができます。新たな設定は、即座にディスプレイに表示されます。上の図ではAUTOMATICが選ばれています。